

# ボランティ

# 第 98 号



# 情報すいた

編集・発行

吹田市社会福祉協議会ボランティアセンター  
吹田市 ボランティア連絡会  
〒564-0072 吹田市出口町19番 2号  
市立総合福祉会館内  
電話 (06)6339-1210

会場全員  
声に合わせて指遊び♡



連続技の  
皿まわしに拍手喝采!



腹話術人形による  
バイオリン演奏♪

点訳された市報の  
厚みに、みなびっくり



コミカルな安来節に  
大笑い



「昨年は東日本大震災、福島の原発事故、和歌山・奈良の大災害が起こり、ボランティア活動の重要性を再認識させられた1年でした。次年度から福祉助成金も『減額』といわれている中で、連絡会は25周年を迎えました。今後、更に各グループ活動と連絡会へ

のご協力をお願いします」とボランティア連絡会 中谷会長の挨拶が始まりました。来賓の社会福祉協議会 立川会長からも「ボランティアの担う役割の多様性・重要性や、これからも共に手を取り合い吹田をよくしていきたいましよう」と祝辞をいただきました。

皿まわし、腹話術などの見事な演技に会場内は和やかな雰囲気包まれ大喝采でした。

### 点訳グループ

視覚に障がいを持つ方による

### 笑楽の会



## 絆を結んで

## ボランティア連絡会交流会

1月31日(火) メイシアター

る、日常生活とボランティア活動の紹介がありました。20才代の女性は、中学時代に自分で書いた絵本の一部を読んでもらい、同時点訳して見せていただきました。

主婦の方は、全盲で外出時はヘルパーさんに介助依頼するけど、家の中では何も困る事はないと話されていました。視覚障がい者の方が、横断歩道で信号が変わるのを知るのは、車の走る音で聞き分けており、盲導犬は色の識別ができないので、視覚障がい者の方が盲導犬に指示を送っていると教えてもらいました。

### 大翔岳風会 亥子谷支部

詩吟 4題 ①富士山 ②寒梅 ③春 ④春簾雨窓を朗々と素晴らしい声で披露していただきました。



会場に響きわたる声に聞き入ります

# 午後の部

ボランティア連絡会役員による「小さな世界」を手話ダンスを付けて歌いながら登場、会場内も一緒に楽しく歌いました。

## グループあめんぼ

指遊びと紙芝居。参加者全員が立ってリーダーにあわせて、ゲー・チョコキ・パリの指遊び。

紙芝居は、昔の実話を元にした「いな村の火」。庄屋が津波から村人全員を、自分の田んぼから刈り取ったばかりの稲藁に火を付けて救ったお話でした。

## 花から

365歩のマーチと吹田市体育指導委員会が広めているスマイル体操を、参加者全員で楽しく体を動かししました。

各ボランティアグループ代表者が活動内容を発表されました。時間が3分間と短く、おさわがセラッパを鳴らしてのタイムアップに会場は大盛

り上がり。グループによっては、物足りなかったのでは無いでしょうか？

今年度はグループの紹介と活動内容の発表を中心に開催し、29グループ中24グループ、約94人の参加がありました。来年は、平成25年1月29日(火)開催です。  
(時松幸恵)

# 親睦交流会 アルバム集



役員一同による手話ダンス



紙芝居「いな村の火」登場人物を演じます



「あっ、落ちる!!」ハラハラ、ドキドキ、皿まわし



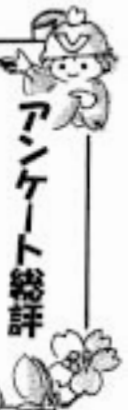
歳を重ねても楽しくスマイル体操



活動紹介を熱く語る



手づくりの展示コーナー



親睦交流会において、アンケートのご協力をお願いしました(参加者94人、回答者54人)。その内9割以上の方から「良かった」との評価を頂きました。今後も連絡会運営に活かしていく方針です。

### 評価点

- 笑いのある交流会は最高。
- 外部から講師をお願いするのではなく、自前での構成が良かった。
- 視覚障がい者の人のなまの声が増えてよかった。
- 腹話術・曲芸・安来節等、ほんとうに楽しかった。

### 改善点

- 福祉教育の事例で同時点訳の時、手元が見えなかったのでモニターに写して欲しかった。
- 情報紙の発行回数を減らしてはどうか。
- 情報紙の内容がマンネリ化になってきている。
- ボランティアを受けている方の取材をしたらどうか。

# 朗読工房

朗読を通して、児童や障がい者・高齢者への奉仕など、社会に貢献されているグループです。

今年で16年目を迎えます。毎月3回以上、各自、絵本などで練習を重ね、内容を熟知しながら感情をこめて朗読されています。左手で絵本を支援、相手に見せながら朗読する難しさや、タイムを計り、相手に聞きやすい時間調整をされる優しさに感心しました。



練習にも「心」と「力」が入ります



会員は約30人で、相手の年齢にあった本を選び、出前朗読・読み聞かせ・語りを、吹田市内の各小学校・幼稚園・児童センター・老人施設などで定期的に活動されています。平成22年度には、吹田市長より、2回表彰されました。今後も活動に力を入れられ、さらなる発展をされることしましょう。  
(西川 宏)



# 笑楽の会

腹話術・曲芸・安来節・おもやん・歌体操などを、幼稚園・高齢者施設のお食事会などで披露しているグループです。国際交流センターでも日本の芸能として出演されています。

今回は、岸部市民ホールでの腹話術の『芸』向上勉強会



早口ことば「特許許可局の局員」

を見学させていただきました。まず会員のみなさんに西村会長より、笑楽会3月・4月のボランティア活動予定日と出演者確認の後、手かがみを渡され、腹話術の基本である口の体操(早口ことば)の訓練次に、置換練習(術者)の時は口をハッキリ開け、唇不動の時は口の閉閉に差をつける。人形のまばたきの入れ方の練習の後、会員自作の物語を腹話術で行い、全員で批評された勉強会でした。参加者10人、腹話術人形は8体です。会長が1人で人形2体を操るお坊さんとおばあさんの物語の腹話術には、びっくりでした。(A・H)

# 吹田市社会福祉協議会設立60周年記念大会

2月19日(日) メインアター

大阪学院大学チアリーダー部のオープニングで、大会が幕開けしました。

司会進行は、おなじみの梅田淳さん。60年の歩みをスライドで振り返る中、自分たちの地域が映し出されると口ぐちに、「あんなこと、こんなこともあったなあ」と再確認。司会者からは、「写真の中の皆さんの笑顔はすばらしい!皆さんが明るい吹田を作った感じですね」という言葉を頂きました。

●第1部● 社会福祉協議会 立川浩次会長より、「地域住民や市関係部局・関係機関・団体等の力強い協力によって、今日まで活発に活動することができ、嬉しく思います」との挨拶。来賓の祝辞では、「絆」が最もふさわしい言葉が社会福祉協議会だと思えます」「府社協の中でも、吹田は高い評価をしています。これからも頑張ってください」などのメッセージが送られました。

●第2部● 午後からは、歌手の水木ケ

イさんによる歌と、吹田市立第三中学校のブラスバンド演奏がありました。また、ブラスバンドの演奏に合わせ、水木ケイさんが、美空ひばりの曲をメドレーで歌われると、会場は大いに盛り上がりしました。

閉会式は、「これはゴールではなく、新たな一ページを開き築きたい」という、由佐副会長による言葉で締めくくられました。(宮田光代)

# 感謝状 おめでどう ございます

- 森川博子 (吹田 曠の会)
- 栗山信子 (グループ友楽)
- 平山節子 (イン吹田)
- いきいき歌体操グループ
- 廣江道代 (吹田市青少年活動研究会)
- 藤原 等 (点訳の会 円)

### 行事案内

#### ◆ボランティア連絡会総会

平成24年 4月17日(火)  
13時30分～  
総合福祉会館にて開催

### お知らせ

#### ◇ボランティア保険

##### 加入受付中

平成24年度からのボランティア保険の受付が始まりました。ボランティア活動保険は、新たにプランが加わり、3プランから選んでいただけます。プランの追加にともない、記入用紙も変更しています。

#### ◆第14回吹田ボランティアフェスティバル2012

平成24年 5月27日(日)

10時～15時

吹田市役所駐車場にて開催  
(小雨決行)

#### ◇ボランティア連絡会 会員募集

市内で活動するボランティアグループや市民活動団体の活動紹介やステージ発表、スタンプラリーなど盛りだくさんです。被災地に元気を送れるフェスティバルにしたいと思っておりますので、皆さまのご参加お待ちしております。

出展団体も3月30日(金)まで募集中です。

#### ◎お問い合わせ

吹田市社協ボランティアセンター(ボランティアフェスティバル実行委員会事務局)  
☎06-63339-1254  
まで。

#### ◎ボランティア保険、ボランティア連絡会加入について

お問い合わせは、吹田市社協ボランティアセンター  
☎06-63339-1254  
まで。

## 大阪府市町村ボランティア連絡会 研修交流会

2月27日(月)

大阪府市町村ボランティア連絡会の事業中間報告、プロジェクト交流会の担当市町村の確認後、東日本大震災の支援活動について研修会が開催されました。

第1部は、「災害復興支援プロジェクトの取り組みと避難者の声」の題目で、豊中市社協職員、豊中で暮らす2人の避難者が、被災時の状況と現在の生活についてお話しして下さいました。

第2部では、南三陸町社協災害ボランティアセンターの震災当時の混乱した様子や、避難経路を常に頭に置いておくことが大切だとお話がありました。

「防災から減災へ」としてパネルディスカッションもあり、お話を聞きながら、家族が別々の二重生活を送る大変さ、地元に戻りたくても帰れないつらさ、今こそ「絆」が必要であり、避難先である地方行政の速やかな、また平等な支援を切に希望します。

(藤森重治)

### 「ご存知ですか?」

## ロコモティブシンドローム

生活習慣病を代表とするメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)はご存知のよう、毎日の生活習慣が大きく関わって引き起こされる疾患です。ロコモティブシンドローム(運動器症候群)も、骨、関節軟骨、筋肉の衰え、変性は自覚症状がありません。長年の運動不足による筋力や持久力の低下、加齢が原因になるという意味では、生活習慣病の一つといえます。

### 「どんな運動がいいの?」




- ①筋力トレーニング ②バランストレーニング ③ストレッチング ④有酸素運動
- 運動は食事と一緒に、決してまとめて、無理をして行うものではなく、出来ることからコツコツと!
- 「カ行の健康法」
- カ：風邪ひくな
  - キ：気を病むな
  - ク：食い意地をはるな
  - ケ：検査を受けよう
  - コ：転ばないで
- 国立がんセンター  
名誉院長 市川平三郎氏 —

(時松幸恵)

### ボランティア相談

ボランティア活動をはじめたい方  
ボランティア派遣を希望する方  
電話で、気軽にご相談下さい

吹田市ボランティアセンター  
06-6339-1210 月～金、1時～4時  
(吹田市立総合福祉会館)

### 編集後記

東日本大震災から1年が過ぎようというこの時、そういえば平成7年の大震災後の3月にも、編集後記を書き記したことを思い返した。ボランティアの心が日本中で時を刻み始めたと感じていた。再びの悲しみの中、人を想う優しい心を忘れてはいけなさと自問。日常に追われ、時だけが過ぎていたのでは…。春の到来が、今年はいっそう待ち遠しい。

(竹内昌子)